

事務事業名		銀河連邦サンリクオオフナト共和国運営支援事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業																										
政策体系	政策名	相互に理解し、尊重し合う地域社会の実現			事業期間		予算科目																										
	施策名	地域間交流の推進					会計	款	項	目	事業																						
	基本事業名	都市間交流の推進					01	02	01	06	52																						
根拠法令				☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 13 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度  全体計画欄の総投入量を記入																													
所属	部課名	企画政策部活力推進課			全体計画 (期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費 内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A) + (B)</td> <td>0</td> </tr> </table>					総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計 (A)		0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0	トータルコスト(A) + (B)	0
	総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金																														
都道府県支出金																																	
地方債																																	
その他																																	
一般財源																																	
事業費計 (A)		0																															
人件費	正規職員従事人数																																
	延べ業務時間																																
	人件費計 (B)	0																															
	トータルコスト(A) + (B)	0																															
係名	地域交流係	電話	27-3111																														
		内線	216																														

事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

銀河連邦は昭和62年、旧三陸町時代に宇宙航空研究開発機構の研究施設がある5つの市町が、ユーモアとパロディの精神で組織した連邦国家で、共和国間の友好親善と相互発展、宇宙への夢とロマンを育むことを目的に各種交流事業を実施しており、その組織運営を支援するため補助金を交付している。

業務としては、銀河連邦本部が主催する事業への参画、各共和国及び自国での事業開催に係る企画・運営、また銀河連邦全体の運営に関する会議への出席などとなっている。

当共和国の主な収入は市からの補助金である。事業費の内訳としては、児童交流事業や経済交流事業への参加に係る旅費や物産展開催に対応した特産品の購入費、諸準備にかかる備品・消耗品の購入などが主な支出となっている。

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動)		名称	
前年度実績 (前年度に行った主な活動)		単位	
本部が主催する子ども留学交流事業への参加や、各共和国で開催される銀河連邦物産展等への参加、出展。また、三陸大船渡夏まつりへ各共和国の関係を招待し、当共和国を理解してもらうとともに、大船渡市産業まつり会場での銀河連邦物産展開催により、市民に対し銀河連邦事業の周知を図った。		ア	事業計画件数
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)		イ	
運営費として2,000千円を補助する。事業内容は前年と同様。		ウ	
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
ア) 銀河連邦サンリクオオフナト共和国		名称	
イ) 銀河連邦各共和国		単位	
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		名称	
各共和国間の交流促進を図る。		カ	交流事業数
		キ	
		ク	
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
視野を広げ文化的・経済的活動に生かす。		名称	
		単位	
		サ	交流事業参加者数
		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (目標)
投入量	事業費内訳	単位						
		千円						
投入量	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	1,800	1,800	1,700	1,500	1,650	2,000
	事業費計 (A)	千円	1,800	1,800	1,700	1,500	1,650	2,000
	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
	人件費計 (B)	千円	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800
	トータルコスト(A) + (B)	千円	6,600	6,600	6,500	6,300	6,450	6,800
活動指標	ア	回	18	16	16	22	23	22
	イ							
	ウ							
対象指標	カ	回	10	9	12	15	15	17
	キ							
	ク							
成果指標	サ	人	255	197	301	339	352	342
	シ							
	ス							

事務事業ID	1136	事務事業名	銀河連邦サンリクオオフナト共和国運営支援事業
--------	------	-------	------------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

昭和62年11月、旧三陸町時代に、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の研究施設がある5つの市町がユーモアとパロディの精神で連邦国家を組織し、それぞれの共和国が手を取り合い、相互の理解と親善を深めることにより、宇宙平和の一翼を担うとともに、人々の笑顔あふれるユートピアの創造を目指してスタートしたもので、合併後、平成14年からサンリクオオフナト共和国として児童交流や経済交流を実施してきた。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

銀河連邦設立以来、各市町の首長を大統領とし、子ども留学交流やそれぞれの共和国の特産品を販売する物産展の相互開催など、各種事業を通して共和国間の親善を深めてきた。

平成19年5月14日には各共和国経済協議会の代表者をもって構成する銀河連邦経済連絡協議会が設立され、民間活力を積極的に活用した経済交流事業を展開することとなった。銀河連邦経済連絡協議会の組織は各共和国経済協議会代表者をもって構成されており、当共和国においても平成21年3月に銀河連邦サンリクオオフナト共和国経済協議会を設立し、さらなる経済交流の促進に取り組んできた。一方で、児童交流については、旅費等の費用面で負担が大きくなってきた等の理由から、事業数を減らす方向で調整が進んでいる。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

事業参画に積極的な市内業者からは、イベントを開催する際、協力できることがあったら言ってほしいとの話しをされている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 銀河連邦事業を通じて、共和国間同士の理解が深まるだけでなく、市民に対しても各共和国の情報を発信できることから政策体系との整合は図られている。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 銀河連邦という括りの中でさまざまな事業を展開しているが、元は行政間の交流事業であり、結果として関係5市町の交流促進が図られることから妥当といえる。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 銀河連邦事業の推進は市がサンリクオオフナト共和国として行なうものであることから対象として適切である。また、事業の目的が共和国間の友好親善と相互発展であることから意図も適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 経済交流を促進する中で、行政がパイプ役となり民対民の流通経路の開拓に取り組むことで、民間主導の経済交流が積極的に行われ成果の向上につながる。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 各種交流事業は市からの支援(補助金)のみで財源をまかなっていることから、廃止・休止とした場合、事業実施は困難となり、都市間交流の推進が図られない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 各市町とは銀河連邦という括りでつながっており、ほかに事業を継続していく類似事業はない。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☒ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由] 民間同士の交流が活発に行なわれることにより、民間が主催する事業の開催が増えていけば共和国からの事業費支出が抑えられ、その結果、補助金の削減も可能となる。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☒ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由] 行政間の交流事業であることから、市職員が事務に携わることは避けられないが、経済交流事業など民間との協働により事務量を軽減できる可能性があると思われるものについては、市職員の業務時間削減の余地もあるだろう。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 児童交流、経済交流とも事業参画にあたり費用負担が発生する場合は個人が負担している。

事務事業ID	1136	事務事業名	銀河連邦サンリクオオフナト共和国運営支援事業
--------	------	-------	------------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 銀河連邦本部事業である子ども留学交流、銀河連邦フォーラムへの参加や銀河連邦物産展の相互開催、また新国民歓迎交流会やポートサイド女子マラソン大会選手団受入といった当共和国主催事業の実施を通して、各共和国との交流促進や相互理解が図られた。 しかし、経済交流事業の新たな試みとなるインターネット上での特産品販売やカタログ販売については、市内業者の積極的な参画が進まず、事業の縮小が決定するなど改善すべき点も浮き彫りとなった。																						
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 経済交流事業については、サンリクオオフナト共和国経済協議会を中心に、民間同士の経済交流につなげられるような事業展開を図るとともに、共和国内に向け、更なる銀河連邦事業のPRを進めることで、業者サイドからの積極的な事業参画を促していく。 児童交流事業については、平成22年度から経費削減の観点からサガミハラ共和国主催事業が2事業縮小されることで検討されているが、銀河連邦設立時の目的である相互の発展と宇宙への夢とロマンを育むという点で人的交流は欠かせないものであることから、新たな形での交流継続に向け検討を進めていく。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 銀河連邦自体の周知が課題である。 これまでも、新国民歓迎交流会開催時における銀河連邦紹介VTRの上映や、大船渡市産業まつり会場で銀河連邦物産展を開催する際にPRコーナーを設け、各共和国の紹介映像を流すなどしているのだが、市民の認知度は高くないのが現状といえる。 経済交流における民間業者の積極的な事業参画を進めていく上でも、市内で開催される各種イベント等でのPRとあわせ、個々の業者への事業説明と協力依頼を行なう必要がある。																								

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	企画政策部活力推進課
-------	------------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている

評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

児童交流や物産展開催等の銀河連邦交流事業を継続実施することで、当共和国を積極的にPRし、交流人口の増加を図る必要がある。また、銀河連邦経済連絡協議会等と連携しながら特産品の販路拡大、新たな流通経路の開拓につなげていく必要がある。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持
 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)

(上記方向性に対する具体的な内容)

経済交流にあつては、民間活力を生かした経済交流を促進すべき設置された銀河連邦経済連絡協議会及び当共和国の経済協議会(事務局: 商工観光物産課) 共同で、民間企業や生産者へ積極的に事業参画を促し、民間事業者間での経済交流につなげていくことが必要である。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		●	
	維持			×
	低下		×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項